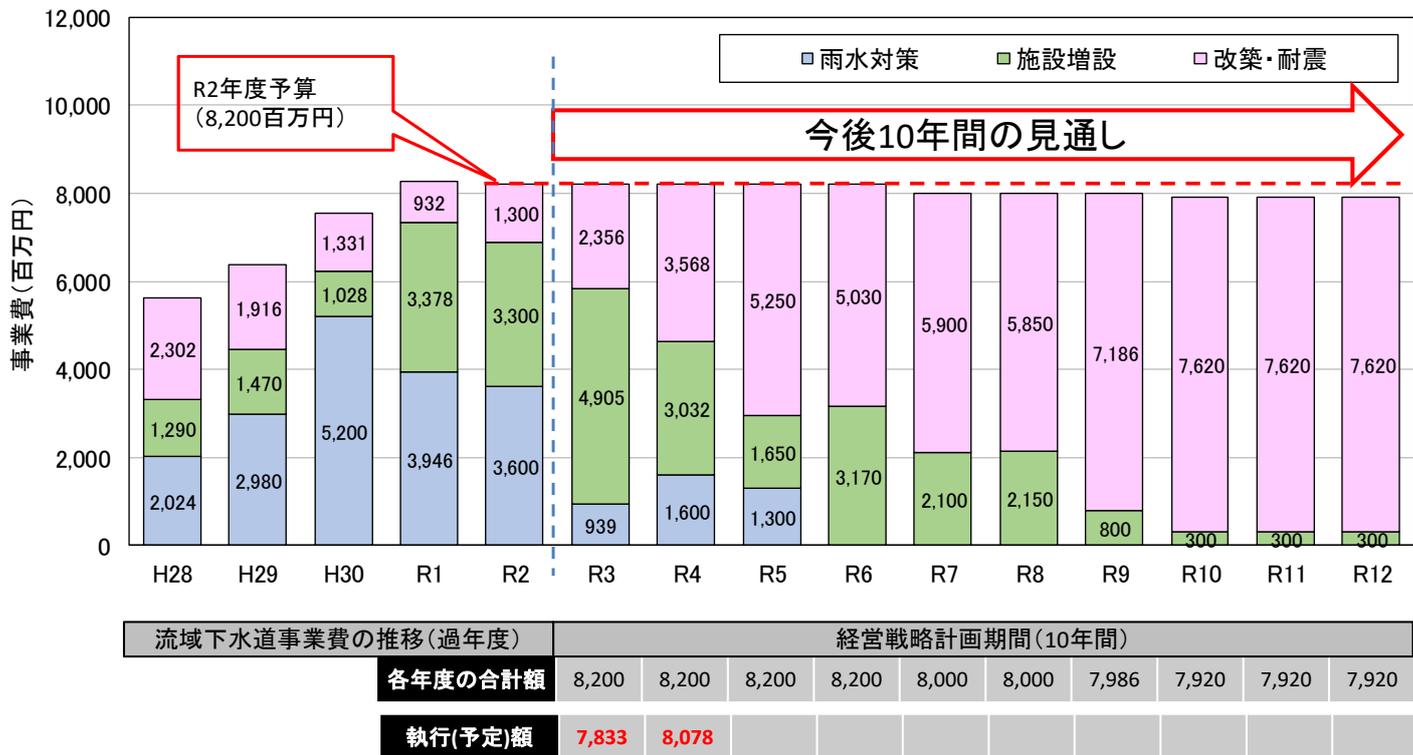


主要事業の進捗状況及び課題について

【必要投資額の見通しと実績】

○経営戦略では、今後10年間の投資の見通しとして約820億円を計上。
 ○令和3年度及び4年度の執行(予定)額としては、概ね計画規模の予算を確保。



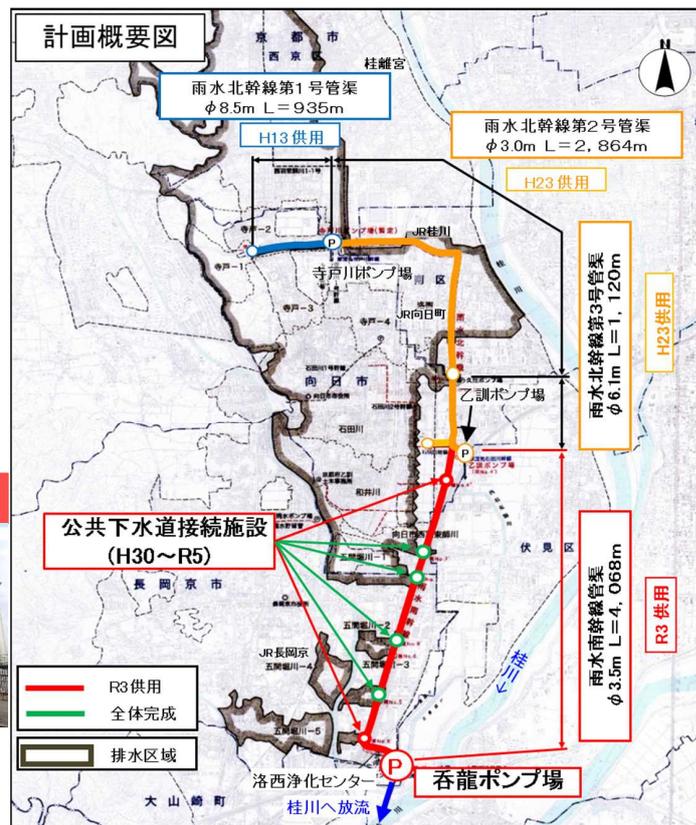
【いろは呑龍トンネルの状況】

(1) 事業概要

・南幹線・呑龍ポンプ場が令和3年度に供用

- 排水面積 約 1,421ha
- 対策量 約 24万³
- 計画対象降雨 61.1mm/時 (1/10確率)
- 計画概要 (全体延長 約9.0km)
 - 北幹線(内径φ3.0~8.5m) 約4.9km
 - 南幹線(内径φ3.5m) 約4.1km
 - 呑龍ポンプ場 ポンプ(5m³/s)3基、調整池
- 事業費 約490億円

＜今回供用施設＞
 南幹線(内径φ3.5m) 約4.1km
 呑龍ポンプ場 ポンプ(5m³/s) 2基
 公共下水道接続施設 2箇所

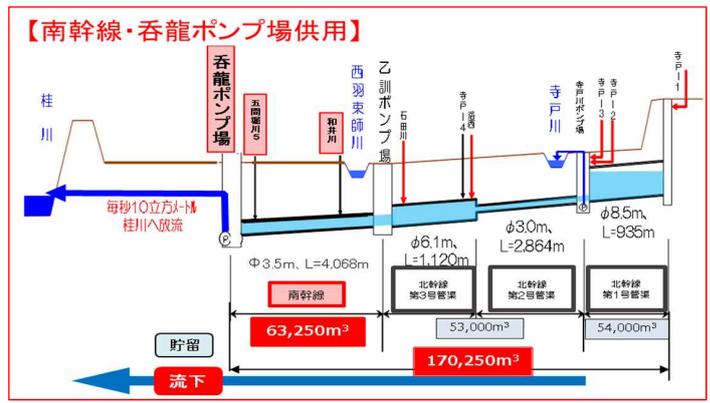
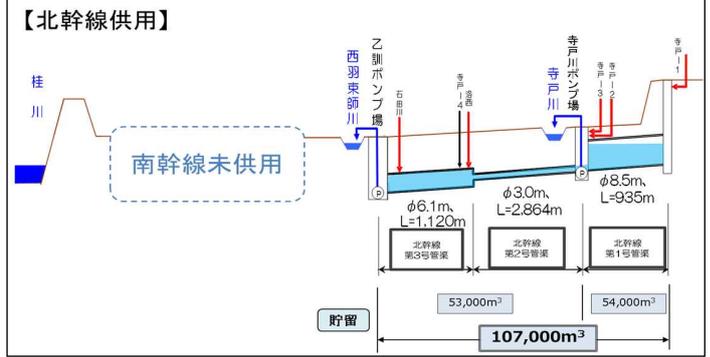
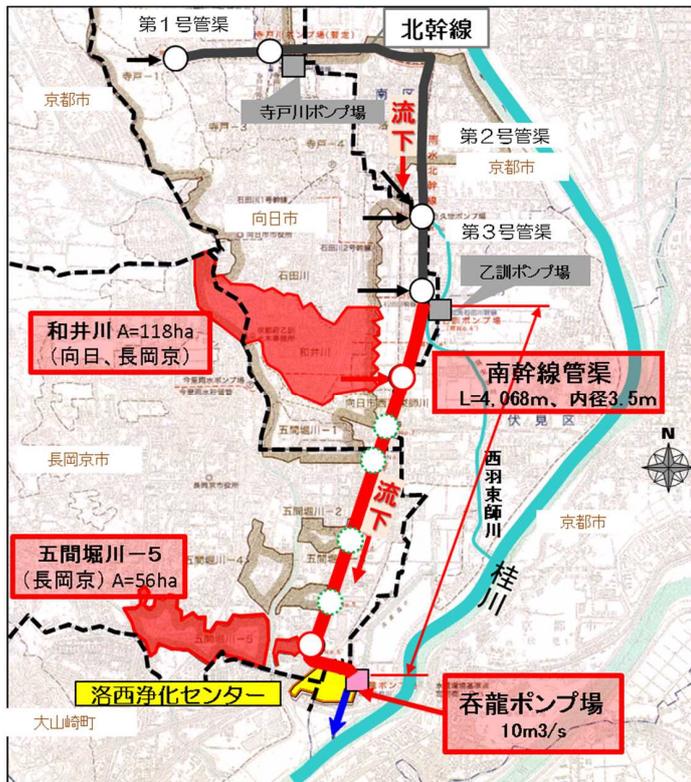


洛西浄化センター

【いろは呑龍トンネルの状況】

(2) 南幹線・呑龍ポンプ場の整備効果

- 貯留量がこれまでの11万m³から約**1.6倍の17万m³**に増加
 - **新たに長岡京市域の雨水を貯めることが可能**（今回2箇所の接続施設が完成）
 - 呑龍ポンプ場の稼働により、北幹線の雨水と併せて**桂川に流すことが可能**（最大排水量10m³/s）
- ⇒トンネルが満水になりにくくなり、**長時間の雨に対する安全性が大幅に向上**

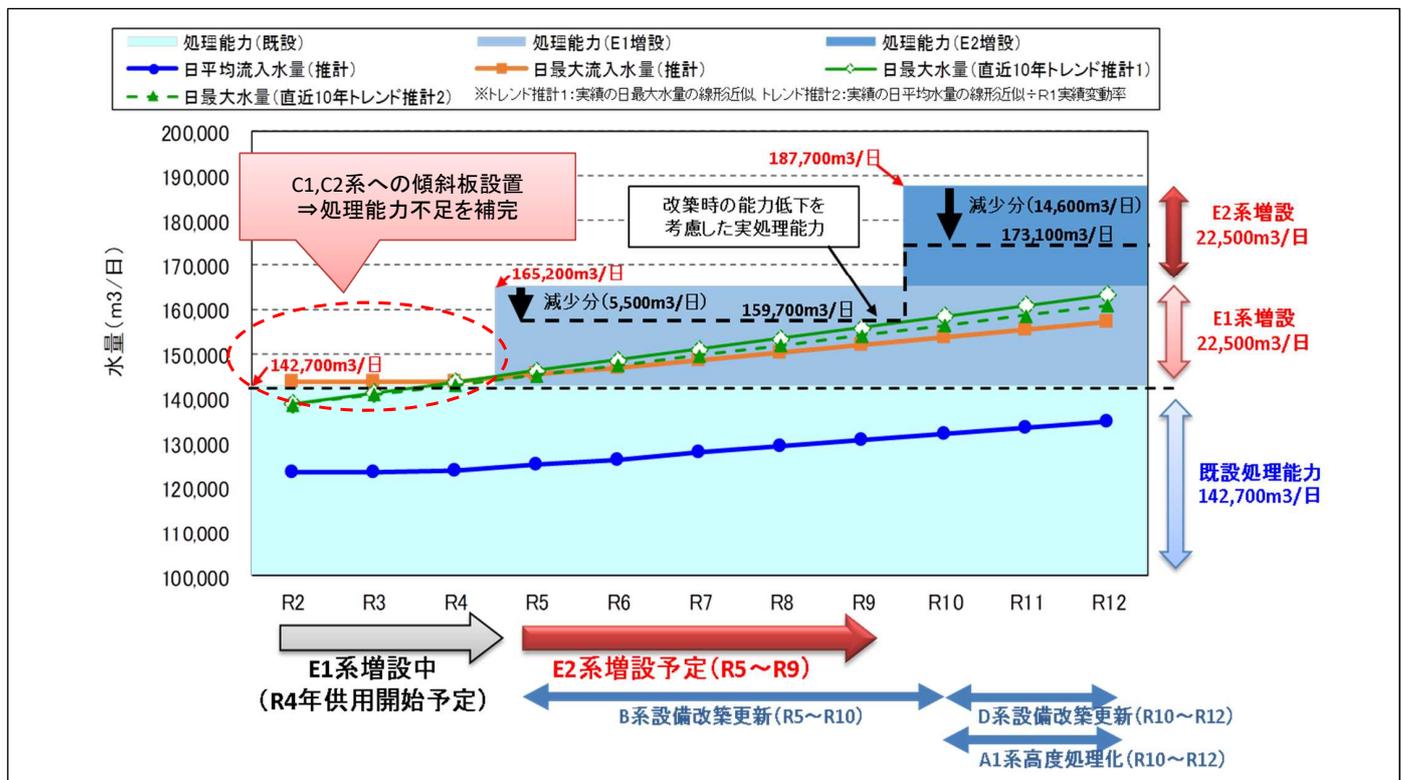


木津川流域における施設増設について

<流入水量の予測>

令和2年度における流入水量（日平均）の実績は、経営戦略に示す流入予測（過去10年間の平均伸び率）と同じ約2%で推移。
⇒ 当面は開発に伴う水量増加が続いていくと想定され、E1系完成後にはE2系増設に着手することが必要。

令和2年度策定「京都府流域下水道事業経営戦略」本編第4章より抜粋

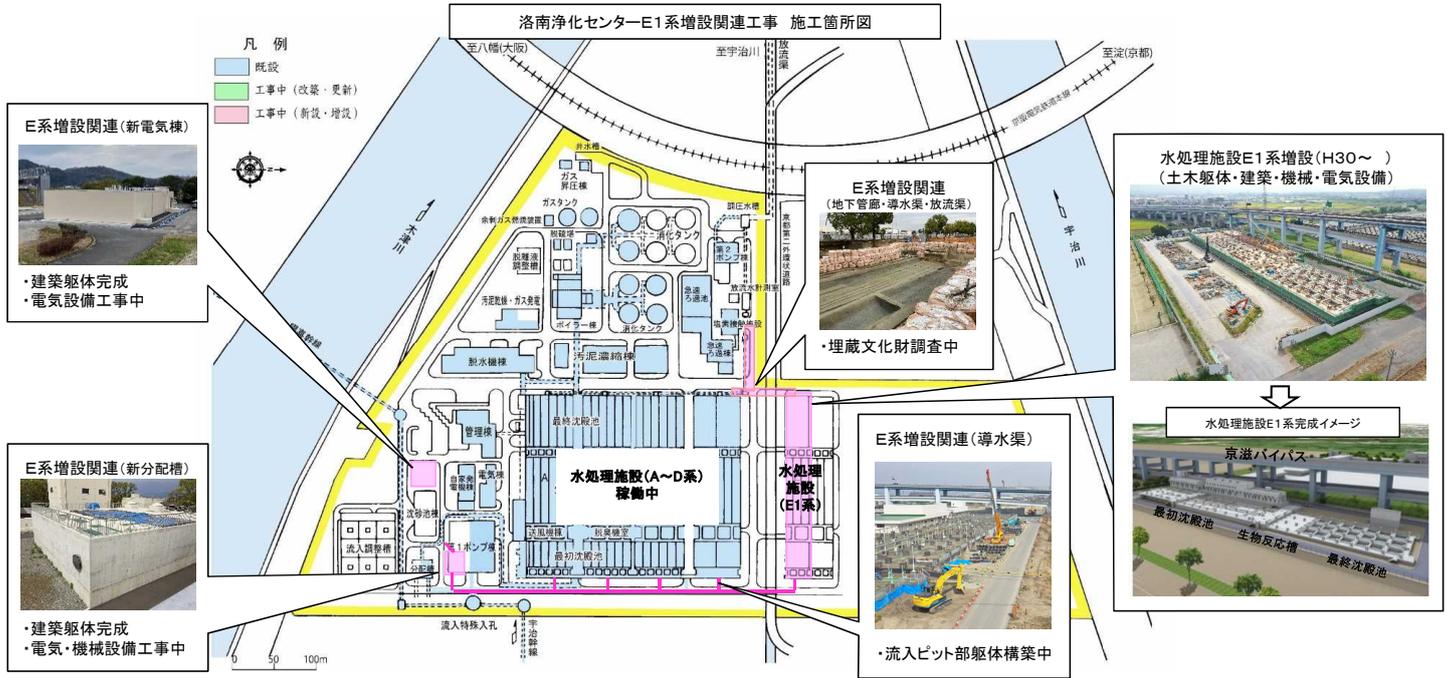


木津川流域における施設増設について

<令和3年度の進捗状況>

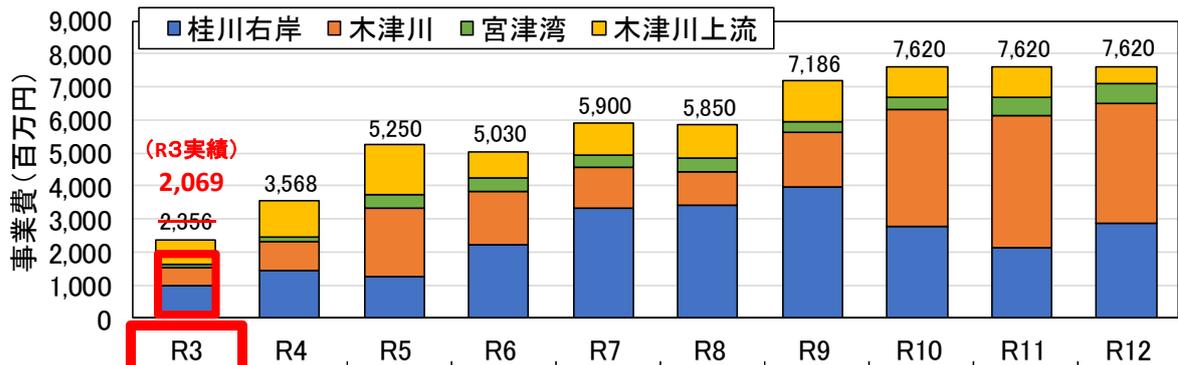
- E1系水処理施設の土木躯体工事は本年3月末に完成済
- 令和4年度は、躯体上部の建築工事、機械・電気設備工事の現場着手予定
- 新電気棟・導水渠・地下管廊等の関連工事の進捗を図る

■全体事業費 E1系：約70億円、関連施設：約50億円 ■事業内容 ・水処理施設E1本体(土木・建築・機械・電気)
 ■整備効果(E1系) 22,500m³/日の処理能力増(現状：152,700m³/日) ・関連施設(新電気棟、新分配槽、導水渠 他)



【改築更新の実施状況】

・令和3年度の改築事業費は、計画の9割程度だが、木津川上流の中央監視設備更新工事に着手するなど、概ね計画どおりに事業を実施。



ストックマネジメント計画に基づく進捗管理

- ・各流域ごとにストックマネジメント計画を策定し、これに基づき事業を実施中。
- ・桂川右岸流域の自家発電設備など、突発的な更新工事についても計画を変更し、対応。

流域	計画期間	施設名	～R1	R2	R3	R4	R5～	備考
桂川右岸	H30 ～ R4	水処理施設B系			耐震診断 基本設計	詳細設計		
		送風機設備			詳細設計			耐震含む
		放流ポンプ設備						当面修繕対応
		汚泥濃縮設備				基本設計	詳細設計	
		汚泥脱水設備(ケキ移送P)						
		汚泥脱水設備(本体)						
		焼却設備						
		受変電設備(第2ボンプ棟)						
		監視制御設備						
		計測設備						
自家発電設備							追加済	

- 凡例
- 工事(実施済)
 - 工事(実施中)
 - 工事(実施予定)



桂川右岸流域 洛西浄化センター 中央監視制御設備更新

【主要事業の課題】

- 雨水対策 (いろは呑龍トンネル)
全体完成に向け、一部接続施設の用地取得が未了
- 木津川流域下水道における汚水処理施設増設
処理能力を補完する傾斜版の効果検証が必要
- 改築更新・耐震化・耐水化
計画で想定していない突発的な事象や老朽化の進行状況にも適切に対応し、計画を見直しながら改築更新等を行っていくことが必要